

アクセスポイントとしての箱別概要
—「福岡スモン基金資料」の整理業務から—

小森 達郎

2022/03/05(土)13:30~16:00
厚生労働科学研究「薬害資料データ・アーカイブスの基盤
構築・活用に関する実践的研究」2021年度研究報告会

アクセスポイントとしての箱別概要
—「福岡スモン基金資料」の整理業務から—

小森 達郎

(研究協力者・立命館大学非常勤講師)

事務室（大阪市港区弁天町）の作業風景



福岡スモン基金資料の箱と簿冊（1）



福岡スモン基金資料の箱と簿冊（2）



福岡スモン基金資料の箱と簿冊（3）

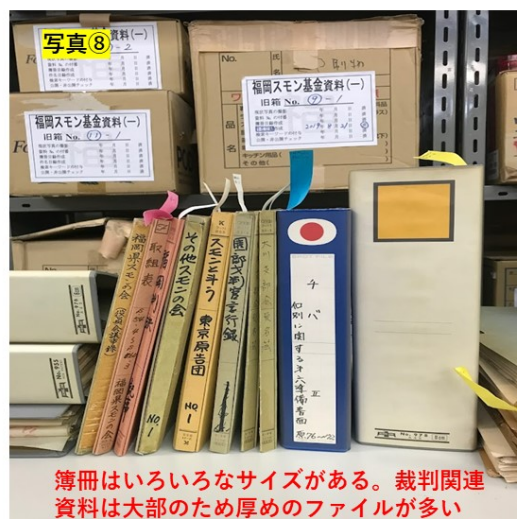


表1：福岡スモン基金資料（合計31箱）の簿冊および件数総数

	箱1	箱2	箱3	箱4	箱5	箱6	箱7	箱8	箱9	箱10	箱11	箱12	箱13	箱14	箱15	箱16	箱17	箱18	箱19	箱20	箱21	箱22	箱23	箱24	箱25	箱26	箱27	箱28	箱29	箱30	箱31	合計
簿冊	61	45	58	68	99	99	11	12	18	50	54	34	23	37	15	61	26	45	88	40	15	19	14	33	17	54	41	51	1	25	823	
件数	1114	123	1160	995	9	228	303	1103	983	117	802	402	344	267	334	977	244	937	483	294	468	327	376	112	76	54	41	51	1	25	12619	
備考																																

現在、全31箱の簿冊目録+件名目録の入力が終了
件名目録は、7箱まで資料分類の追加入力が完了！

表2：アクセスポイントとしての箱別に見た、福岡スモン基金資料（7箱まで）の簿冊十件数

資料分類	1箱		2箱		3箱		4箱		5箱		6箱		7箱		各分類の合計	
	簿冊数	件数	簿冊数	件数	簿冊数	件数	簿冊数	件数	簿冊数	件数	簿冊数	件数	簿冊数	件数	簿冊数	件数
①個人資料	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	13
②医療関連資料	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	15	0	2	1	21
③患者・支援団体資料	29	434	2	11	41	717	62	905	3	7	0	2	0	15	137	2091
④弁護団資料	2	17	6	81	2	30	1	23	0	0	2	13	6	235	19	399
⑤裁判資料	8	10	30	39	2	2	1	1	4	0空	7	212	5	50	57	314
⑥企業資料	0	0	3	9	0	7	0	0	0	0	0	0	0	3	3	19
⑦公文書	1	21	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	21
⑧報道資料	1	3	0	3	1	67	0	2	0	0	0	1	0	0	2	76
⑨その他（他団体資料など）	20	665	4	8	11	443	4	122	2	2	0	2	0	8	41	1250
合計	61	1154	45	151	58	1270	68	1053	9	9	9	224	11	313		

⑦

表2をアクセスポイントとして活用する（1）

■福岡スモン基金資料は件名総数で12,000点以上あり、そのなかから一件ずつ見ていくのはとても大変！そこで表2を、資料検索時のアクセスポイントとして活用する。

たとえば⑤裁判資料を中心に閲覧したいときに、表を見ると、2箱に裁判資料の簿冊が多いことが分かる（黄緑色の部分）ので、検索のときの目星がつく。**表2を用いて大まかな資料数を把握できる！**

☞今後、全31箱を表2に反映させるとともに、後半で紹介する「**箱別概要**」を各箱ごとに作成し、資料検索時のアクセスポイントとして活用できるように整備する予定。

⑧

表2をアクセスポイントとして活用する（2）

- 1冊の簿冊（ファイル）のなかにも、**複数の資料分類に該当する資料**が多く存在していたが、簿冊のなかに収められている**資料の多寡で判断**して、①～⑨いずれかの資料分類に帰属させた。
- 簿冊のなかにある件名資料（アイテム）でも、1件が複数の資料分類に該当するものも多く見られた。たとえば、福岡スモンの会に送られてきた他団体の会報・要請書（③患者・支援団体資料かつ⑨その他）や、スモン訴訟福岡弁護団が作成した裁判資料など（④弁護団資料かつ⑤裁判資料）など。

⑨

表2をアクセスポイントとして活用する（3）

- 表2の黄色部分のように、簿冊ではゼロだが、件数では見つかる資料もある。いずれかの簿冊のなかに**少数ながら点在（埋没）している資料**もある。①**個人資料**、②**医療関連資料**、⑥**企業資料**などで多い。これらは簿冊のなかにあるが、数が少ないため簿冊レベルでの資料分類では表面に浮かび上がってこない。
- これら少数の、しかし重要だと思われる資料を見落とさなく検索するために、**件名目録**で検索する必要がある。件名レベルで検索することで、これらの少数資料を必ず発見できるはず。

⑩

表2をアクセスポイントとして活用する（4）

- (1) **表2 + 箱別概要**で、自分が見たい資料のおおよその目星をつける。
 - (2) 同程度の量で複数分類の資料を含む簿冊（たとえば④弁護団資料と⑤裁判資料が半々くらいある簿冊など）には要注意！その場合は**件名目録**を必ずチェックする。
 - (3) それぞれの簿冊のなかに少ないながら伏在している資料を探す際も件名目録で検索する。
- ☞ これら3つの方法で、12,000点余の資料のなかから自分が読みたい資料を効率的に絞り込んでいくことができる！

⑪

数は少ないが収録されている資料（1）

■ 資料分類①の「**個人情報**」に該当すると思われるもの

* 原告患者が作成した「**手紙**」や「**履歴書**」など（1箱簿冊No.3）

冊No.	簿冊No.	件No.	件名	内容	年月日	種別	形態	数量	作成者	受取者	公開性	公開理由	非公開理由	備考	業名	キーワード
1	3	20 /		手紙、履歴書	19820108	P	B4ハ	2枚	福岡県スモンの会、水上集	県庁衛生部要務課	非公開	個人情報	書留郵便物受領書の添付あり	スモン	①③	履歴書、(就労)
1	3	21 /		手紙、履歴書	19811222	P	B4、B5ハ	2枚	(福岡県スモンの会)、高田達人		非公開	個人情報	3-20と同様の受取者か	スモン	①③	履歴書、(就労)

* これらの資料は①個人情報であり、かつ③患者・支援団体資料にも該当。

* その他、遺族が作成した原告患者の「**病状記録**」など（6箱簿冊No.1）

⑫

数は少ないが収録されている資料（2）

■資料分類②の「**医療関連資料**」に該当すると思われるもの

* **厚生年金（障害年金）診断書のコピー**（3箱簿冊No.3）

受入番号	簿冊No.	簿冊名	内容	年月日	種別	形態	数量	作成者	公開評価	評価理由	備考	表紙名	資料分類	小分類
3	3	厚生年金(障害年金)診断書コピー	年金受給権者現況届・年金診断書コピー	19830224～19831013	P	B5フランドアール	厚1cm	福岡市博多区千代丁目14番24号千鳥庵病院医師 江島、紀代子、福岡県田川市中央町2番4号田川市立病院内科医師 小形嘉崇、田川市立病院整形外科医師 北野亮彦	非公開	個人情報 簿冊名は背表紙からとった	スモン	②		

* その他、死亡した原告患者の各種証明書（「**症例証明書**」・「**解剖証明書**」・「**死亡診断書**」などの控え：6箱簿冊No.1）

* これらの資料は②医療関連資料であり、かつ⑤裁判資料にも該当。

⑬

数は少ないが収録されている資料（3）

■資料分類⑥の「**企業資料**」に該当すると思われるもの

* 田辺製薬が作成した「**医薬品製造許可申請書**」（2箱簿冊No.1）

* 田辺製薬の代理人弁護士作成の「**準備書面**」の**副本**（2箱簿冊No.19）

☞この資料は⑥企業資料であり、かつ⑤裁判資料にも該当。

受入番号	簿冊No.	簿冊名	内容	年月日	種別	形態	数量	作成者	公開評価	評価理由	備考	表紙名	資料分類	小分類
2	1	医薬品製造許可申請書 田辺製薬	医薬品製造許可に関する申請書・委任状等	19651213 ～ 19671023	P	B5冊子	厚1cm	田辺製薬	公開	簿冊名は背表紙からとった	簿冊名の「副本」の文字は、四角で囲まれている	スモン	⑥	
2	19	副本 準備書面 田辺製薬株式会社	裁判資料(準備書面)	19750404	P	B5冊子	厚0.5cm	被告田辺製薬株式会社代理人 弁護士 山下新一・林謙之輔・石井通洋・菅木康・武田篤一・川合孝郎・橋本壽・丁野清春・伊東真	公開	簿冊名の「副本」の文字は、四角で囲まれている	簿冊名の「副本」の文字は、四角で囲まれている	スモン	⑤⑥	

* 資料分類①②⑥の資料については、この後の検索で実演する予定！

⑭

資料分類（アクセスポイント）に基づいた 箱別概要のサンプル紹介

- 栗原敦氏が作成した箱別概要（24箱）を参照しつつ、福岡スモン基金資料のうち、**1箱および2箱の箱別概要**を試作したのでPDFデータで紹介。
- ☞ 先述したように、今後、全31箱に「箱別概要」を作成し、資料検索時のアクセスポイントとして活用できるように整備する予定だが、「箱別概要」はまだ試作段階。

第1陣31箱のうち箱No.24の概要

担当：栗原 2021.3.30 作成

資料分類	簿冊数	作成時期	内容等
①個人資料	0	-	-
②医療関連資料	0	-	-
③患者・支援団体資料	3	1972(s47)頃	全国スモンの会及びスモン統一訴訟原告協議会、全国スモンの会の姿勢をただす会など、批判・反批判等に関するものが中心であり、福岡スモンの会結成初期の資料もある
④弁護士資料	10	1972-1976	福岡弁護士団が収集した東京弁護士団のニュース、スモンの理解に関するものから、福岡の弁護士結成、参加の呼びかけ、弁護士の会議メモ、福岡訴訟の概要や経過、原告の入院・通院の記録など
⑤裁判資料	18	1972-1977	当初の東京地裁あて訴状、証人申請、準備書面、スモン訴訟専門部設置による集中審理反対意見書等（1972-1974頃）23件、及び福岡地裁での、双方の準備書面、文書（カルテ）送付嘱託、被告によるカルテの問題指摘と原告の反論、原告の陳述（被害状況）など（1973-1977頃）24件他
⑥企業資料	0	-	-
⑦公文書	0	-	-
⑧報道資料	1	1997	8月9日付『リビング福岡』1218号
⑨その他	1	-	空の封筒
合計	33冊		<p>※箱 No.24 の件数は 112 【内訳：③患者・支援団体資料 24 / ④弁護士資料 36 / ⑤裁判資料 49 / ⑦公文書 1 / ⑧報道資料 1】</p> <p>※簿冊 No.2 には、1972年4月、甲野禮作、白木博次ら4名の参考人質疑を行なった衆院社会労働委員会会議録、および、s47年8月27日付、大阪・京都・兵庫・奈良の弁護士団が「独自訴訟」をめざす「関西スモン訴訟弁護士連絡会議」結成を報じた5紙の記事が含まれている。</p>
<p>箱 No.24 の資料概要 時期的には、1972 (s47) から 1977 年の資料で、内容的には以下の通り。1969 年 11 月に結成された「全国スモンの会」の主導で、1971 年 5 月に初提訴された、東京地裁における「統一訴訟」の訴状など裁判資料の一部。1972 年 7 月に発起人が開催された「全国スモンの会の姿勢を正す会」を中心にした、民主的運営を求める被害者の動きに関するもの。東京地裁での「統一訴訟」ではなく、各地裁での「分散型統一訴訟」を求める被害者・弁護士に関するもの等である。当初は全国スモンの会に結集するが、後に四分五裂していく同会内部の葛藤の始まりを示す資料といえる。また、福岡スモンの会結成時の規約や総会資料、及び 1972 年 11 月に作成された福岡訴訟弁護士団結成の呼びかけ文案に至るまでの経緯に関する資料や、福岡地裁での訴訟の記録の一部が含まれ、原告の意見陳述、速記録をはじめ、被害状況が具体的に記されたものがある。</p> <p>参考：『グラフィックドキュメント スモン』巻末の年表など</p>			

(仮) 第1陣31箱のうち箱No.1の個別概要

担当：小森 2022.2.25 作成

資料分類	簿冊数	作成時期	内容等
①個人資料	0	-	-
②医療関連資料	0	-	-
③患者・支援団体資料	28	1975-2005	スモンの会全国連絡協議会（ス全協）関連資料（会報、パンフ資料、役員会議記録、会計報告など）、各地スモンの会の会報（北海道スモンの会、スモン東京原告団、千葉県スモンの会、神奈川スモンの会、兵庫県スモンの会、山口スモン友の会）など
④弁護士資料	4	1973-2005	スモン訴訟事件の経過報告書（1973）、製薬3社の損害賠償責任についての意見書（1980）、公害弁連第34回総会議案書、関係先名簿など（2005）
⑤裁判資料	8	1973-1980	スモン訴訟福岡弁護士が作成した「報告書」（1973.7.27）、和解調書（1980.9.29）など
⑥企業資料	0	-	-
⑦公文書	1	1982-1983	福祉手当申請書類（福祉手当認定診断書、所得状況書類など）
⑧報道資料	1	1985-1986	スモン、水俣病等に関する新聞記事のスクラップ
⑨その他	19	1978-1996	福岡県スモンの会と交流のある他団体の発行資料（水俣病、カネミ油症、クロロキン薬害、九州 HIV 訴訟、日本患者・家族団体協議会など諸団体の会報や要請書など）
合計	61冊		
<p>件名数：合計 1114 件〔内訳：① 4 ② 1 ③ 434 ④ 17 ⑤ 10 ⑥ 0 ⑦ 21 ⑧ 3 ⑨ 665〕</p> <p>*ただし、①個人資料かつ③患者・支援団体資料、③患者・支援団体資料かつ④弁護士資料など、複数の資料分類に該当する資料も含まれている。</p>			
<p>箱 No.1 の資料概要 時間的には、1970 年代初頭から 2000 年代初頭にかけての資料が収納されており、主なものとしては、①スモンの会全国連絡協議会（ス全協）関連資料（会報、パンフ資料、役員会議記録、会計報告など）や、各地スモンの会が発行した会報、②福岡地裁における裁判資料の一部、とくに 1978 年 11 月の福岡地裁判決の後の被告国の控訴状（簿冊 No.11）や、それに対する原告弁護団の反論（簿冊 No.12）、和解調書（簿冊 No.21,22）などが取められている。また簿冊目録のレベルで見ると、箱 No.1 の特色として、③福岡県スモンの会と交流のある諸団体が発行した会報や要請書（主要なものは福岡スモン訴訟結審後）が多数収録されている点が挙げられる。これらの資料群は、福岡スモンの会が裁判闘争の過程で、水俣病、カネミ油症、クロロキン薬害などの様々な公害・薬害被害者団体との間に広範なネットワークを形成していたことをうかがわせるものである。</p>			
<p>参考：スモンの会全国連絡協議会編、『薬害スモン全史 第三巻 運動篇』。労働旬報社、1981 年。</p>			

(仮) 第1陣 31箱のうち箱 No. 2 の箱別概要

担当：小森 2022.2.28 作成

資料分類	簿冊数	作成時期	内容等
①個人資料	0	-	-
②医療関連資料	0	-	-
③患者・支援団体資料	2	作成時期不明	福岡県スモンの会会員からの手紙(簿冊 No.37)、 公害における損失額認定例(簿冊 No.45)
④弁護士資料	6	1972-1973	スモン訴訟福岡弁護士結成総会資料(事実経過、活動方針、当面の課題)、スモン訴訟弁護士名簿、ニューズレター、スモン個人調査票、スモン患者救済と訴訟支援組織の結成を訴え、集会への参加を呼びかける書類など(簿冊 No.7-10)
⑤裁判資料	30	1974-1978	証人調書・速記録(井形昭弘、高野哲夫、片平列彦、熊岡照、本庄庸、田辺恒義)、反対尋問(デーヴィッド反対尋問)、被告田辺製薬株式会社による各準備書面、損害賠償請求(福岡スモン訴訟)事件全三分冊など
⑥企業資料	3	1955-1967	医薬品製造許可に関する申請書(田辺製薬、チバ製品：簿冊 No.1,3)、委任状、学術論文など
⑦公文書	0	-	-
⑧報道資料	0	-	-
⑨その他	4	1984-1987	団体資料(環境週間・全国公害被害者総行動デー報告書、公害弁連総会議案書など：簿冊 No.32-34)
合計	45冊		
<p>件名数：合計 123 件〔内訳：① 0 ② 0 ③ 11 ④ 81 ⑤ 39 ⑥ 9 ⑦ 0 ⑧ 3 ⑨ 8〕 *ただし、③患者・支援団体資料かつ④弁護士資料、⑤裁判資料かつ⑥企業資料など、複数の資料分類に該当する資料も含まれている。</p>			
<p>箱 No.2 の資料概要 時期的には、1950 年代中頃から 1980 年代後半にかけての資料が収納されているが、とくに 1974-1978 年にかけての福岡スモン訴訟に関連する裁判資料が多数収録されているのが箱 No.2 の特色と言える。同箱に収録されている裁判関連資料は多岐に亘るものであり、スモン訴訟福岡弁護団の結成に至る経緯や活動方針に関するもの(簿冊 No.8,9)、訴状・請求内容・原告の情報等が記載された福岡スモン損害賠償請求事件の「訴状」(簿冊 No.27)、原告団が立てた各証人による口頭弁論の速記録(簿冊 No.11~18)、被告製薬会社である田辺製薬が作成した裁判資料(準備書面：簿冊 No.19,22,25,28,29)、三分冊からなる福岡スモン訴訟事件判決(簿冊 No.30,42,43)などがある。なお同箱に収録されている被告田辺製薬の裁判資料は、スモンの病因論(スモンとキノホルムとの因果関係)や責任論(キノホルム副作用の予見可能性)といった裁判上の争点について当事者である製薬会社の考えをうかがい知ることができるものと言える。</p> <p>参考：スモンの会全国連絡協議会編、『薬害スモン全史 第三巻 運動篇』、労働旬報社、1981 年、38-44 ページ。</p>			